

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部

令和四年一月度 入賞句一覧

投句数 千四百八十二句



特選

高木 佐知子 選

白いいきたくさんはいて後るとび

大垣市

尾関 右京(小二)

気温の低い日は、はく息が白く見えます。その中で後るとびの練習をしているのでしよう。「たくさんはいて」の中七から、後るとびを何回も跳んでいることがわかります。「息白し」「白息」などの季語を使うことができますが、「白いいき」という二年生らしい表し方が良いです。努力が伝わる一句です。

なわとびのかげといっしょに二人とび

大垣市

伊藤 晟冨(小二)

冬の運動と言えばなわとびです。とんだ回数やとび方の技など、毎日練習しているのでしよう。そんな一日の一時を表しています。「なわとびのかげ」は、もちろん作者です。自分とかげとの二人とびという着眼点がおもしろいです。力がわいてくるよな元気が伝わる一句です。

投げられてまた投げられて雪遊び

大垣市

宮部 凜成(小六)

初めて積もった雪に大はしやぎして雪合戦をしているのでしよう。雪玉を投げては投げられという様子を想像します。しかし、「また投げられて」の中七から作者が攻められていることがわかります。それでも楽しい雪合戦です。また投げられている作者の笑顔も浮かびます。楽しさが伝わる一句です。

秀逸

冬もみじ力出し切り赤くなる

大垣市

浅野 陽来(小六)

さか上がり回った時にいちようのは

大垣市

船田 康介(小二)

おにごっこ秋の風うけはなまつか

大垣市

加藤 音羽(小二)

冬將軍吐息は白い溜め息に

加茂郡川辺町

安田 愛美(中一)

道端にちよこんと座る雪だるま

加茂郡川辺町

平岩 美留(中二)

ししまいにあたまをかまれいいきぶん

大垣市

清水 ちとせ(小四)

おはようとあいさつしたらしろいき

大垣市

川瀬 結愛(小五)

つぎのあさとけずにまつた雪だるま

大垣市

林 未来也(小二)

初写真家族でぎゅっと集まって

大垣市

坂 祐奈(小六)

大そうじ水をこぼしてさいしょから

大垣市

ほり川 あんじゅ(小二)

入選

冬の日は私のかげを長くした

大垣市

白川 綺音（小六）

芭蕉像かれ木のすき間青い空

大垣市

牧野 百花（小六）

冬休み夢の中でもけんかする

大垣市

鈴木 理乃彩（小六）

どんぐりがころころとまえまわり

大垣市

さめじま あやめ（小二）

もみじのはあつめてあそぶせいので

大垣市

山田 栞（小二）

あかとんぼきゆうにほうこうかえてとぶ

大垣市

し水 ふうか（小三）

おみくじで気持ちがかわる初詣

加茂郡川辺町

池田 徹晶（中一）

雪搔きをした手にカイロくれる兄

加茂郡川辺町

古川 帆稀（中一）

ゆきだるまにんじんのはなにあつてる

大垣市

高木 うた（小二）

ゆきだるま小石あつめてかおつくる

大垣市

高橋 凜（小四）

手ぶくろでうさぎをつくる帰り道

大垣市

野原 柑南（小五）

今年こそ聞くまでねないじよやのかね

大垣市

高橋 やすひと（小六）

手袋を片方なくして家路つく

大垣市

海老 柚葵（小六）

福わらいかおがゆがんでこまってる

大垣市

杉本 彩華（小三）

まよつちやうあんこかきなこかおぞうにか

大垣市

松原 莉紗（小二）

おみくじではしやいで転び初笑

大垣市

林 大翔（小六）

金生山の頂上で見る初日の出

大垣市

高田 茉友里（小六）

はつもうで雪をふみしめねがいごと

大垣市

安田 こう太ろう（小二）

たこあげをパパとたいけつまけないぞ

大垣市

まつうら はつみ（小二）

はつもうでママといっしょにかねひとつ

大垣市

清水 虹心（小二）

選者吟

冬桜真青な空に香を放つ

佐知子



小中学生の部